

真空ミキサー

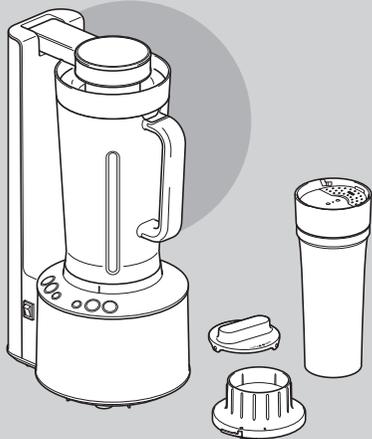
品番：TMV2000/2000VT

取扱説明書

保証書付き

保証書は、裏表紙に付いております。
販売店にて必ず記入を受け、大切に
保管してください。

ご購入ありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明
書を必ずお読みいただき、
正しくご使用ください。
お読みになった後は、お使いに
なる方がいつでも見られると
ころに必ず保管してください。



※タンブラーセットはTMV2000VTのみ付属です。

もくじ



安全上のご注意 …… 1～4
各部のなまえとはたらき …… 5～6



お使いになる前に …… 7～8
ミキサーの使いかた …… 9～18
真空保存のしかた …… 19～24



エラーが発生したときは …… 25～26
お手入れのしかた …… 27～32



故障かな?と思ったら …… 33



仕様 …… 33
アフターサービス …… 34
保証書 …… 裏表紙



安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。
- 注意事項は次のように区分しています。

⚠ 危険

誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫度合いが高いと想定される内容を示します。

⚠ 警告

誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠ 注意

誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

絵表示の例



記号は、「してはいけないこと」の内容をお知らせするものです。



(左図の場合は分解禁止)



記号は、「しなければならないこと(強制)」の内容をお知らせするものです。



(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)

警告



禁止

長期間の使用や誤使用により、電源コードが断線する恐れがあるため、次の状態が確認されたときは使わない。

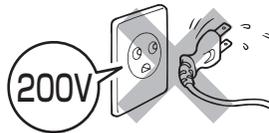
- 使用中、動いたり止まったりする
- 電源コードがねじれて戻らなくなった
- 電源コードの根元部分が変形・傷んでいる
- コンセントの差し込みがゆるい



火災・感電・やけど・ショートのおそれがあります。

交流100V以外で使わない。
(日本国内専用)

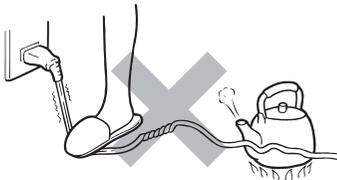
発火する恐れがあります。



電源コードは下記のように扱わない。

- 無理に曲げない
- ねじらない
- 引っ張らない
- 重いものをのせない
- 熱いものに近付けない
- はさみ込まない
- 加工しない
- 束ねたまま使用しない

火災・感電の恐れがあります。



禁止

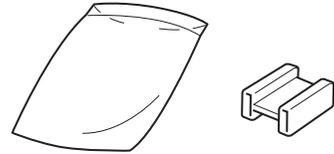
子供だけで使わせない。
幼児の手の届く所で使わない。

子供や幼児がけがをする恐れがあります。



取り外した部品・梱包材(ポリ袋・電源プラグのカバーなど)を、子供の手の届く場所に置かない。

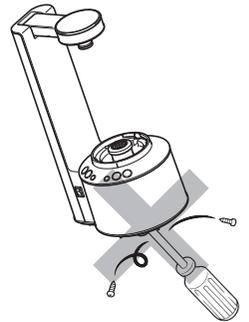
口や鼻をふさいだり、口に入れるなどして、窒息や誤飲する恐れがあります。



分解禁止

修理技術者以外は、絶対に分解・修理・改造をしない。

発火・感電の恐れがあります。



水場禁止

本体を水につけない。
本体に水をかけない。
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。

感電の恐れがあります。



安全上のご注意

⚠ 注意



必ず守る

1回使用すること、各フタセットのお手入れをする。(29~32ページ参照)

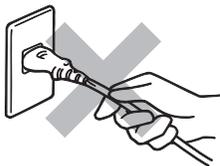
本製品が故障する恐れがあります。

電源が切られていることを確認してから、電源プラグを抜き差しする。

けがをする恐れがあります。

コンセントから電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く。

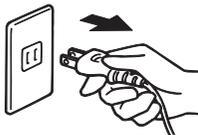
電源プラグを傷める恐れがあります。



電源プラグを抜く

使用後やお手入れをするときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておく。

けがをする恐れがあります。



禁止

カッターは鋭利なので直接手で触れない。

けがをする恐れがあります。



ミキサーボトルの中に指・金属製のスプーンなどを入れない。

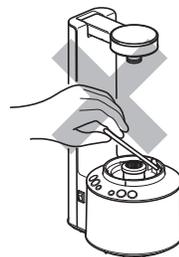
けが・故障の恐れがあります。



禁止

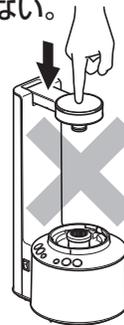
安全スイッチを直接、指・棒などで絶対に押さない。

けが・故障の恐れがあります。



フタをしたボトルセット・タンブラーセットを取り付けていない状態で、真空アームを上から押さない。

故障の恐れがあります。



動作中に移動させない。

けがをする恐れがあります。

不安定な所では使わない。

けがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。



40℃以上の材料はミキサーボトル・タンブラーに入れない。

本製品が故障する恐れがあります。





禁止

空回ししない。最少量より少ない材料で使わない。

本製品が破損する恐れがあります。



禁止

真空ミキサー機能で調理したものの以外を真空保存しない。

本製品が故障する恐れがあります。

最大目盛りを超える量の材料を入れない。

〈定格容量〉

ミキサーボトル：12ページ参照

タンブラー：20ページ参照

本製品が故障する恐れがあります。

調理以外の目的では使わない。

本製品が破損する恐れがあります。

本製品は家庭用なので、業務用として使わない。

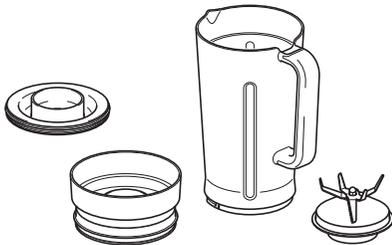
使えない材料を入れない。
(9ページ参照)

本製品が破損する恐れがあります。

定格時間を超えて連続運転しない。
(次の動作まで指定の時間以上休ませる)
(33ページ参照)

本製品が故障する恐れがあります。

専用のボトルセット・タンブラーセット
や部品以外は使用しない。



※安全上のご注意のイラストは
実際の商品とは異なります。



各部のなまえとはたらき

はじめに、すべての部品・付属品が揃っていることをお確かめください。
パッキンなどは取り付けられています。(各部の取り外しかた 29・31ページ参照)

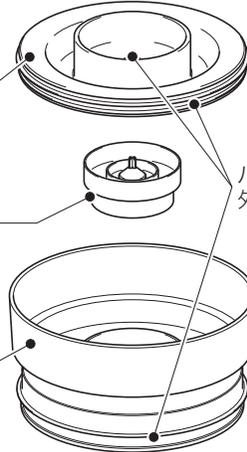
ボトルセット

※
ボトルフタセット

ボトルフタ
キャップ※

フロート※

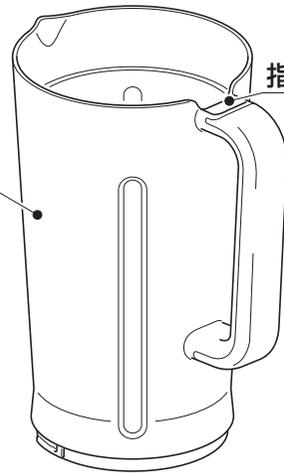
ボトルフタ※



パッキンは
外せません。

ミキサー
ボトル※

指かけ部



※
ミキサー
ボトル部

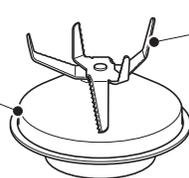
カッター台
パッキン※

予備のパッキンが
1つ付属していま
す。

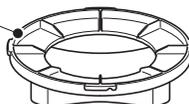


カッター台※

カッター
外せません。



カッター台
ホルダー※



タンブラーセット (TMV2000VTのみ)

2つ付属しています。

※
タンブラー
フタセット

タンブラー
フタキャップ※

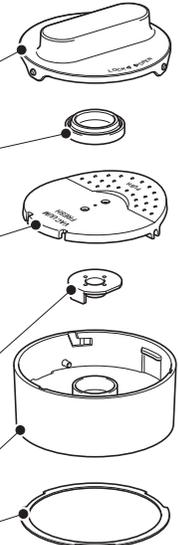
キャップ
パッキン※

リリース
スイッチ※

リリース
スイッチ
パッキン※

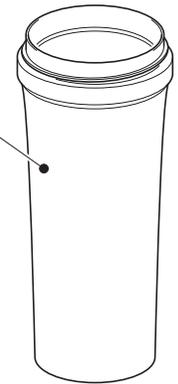
タンブラー
フタ※

フタパッキン※

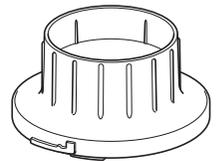


タンブラー※

外側と内側が外れる2重
構造になっています。
間にフタパッキンと同じ
パッキンが入っています。
ゆるんでいるときは、
しっかりしめてから使っ
てください。
(32ページ参照)



タンブラーベース※



掃除用ブラシ※

お手入れに使います。

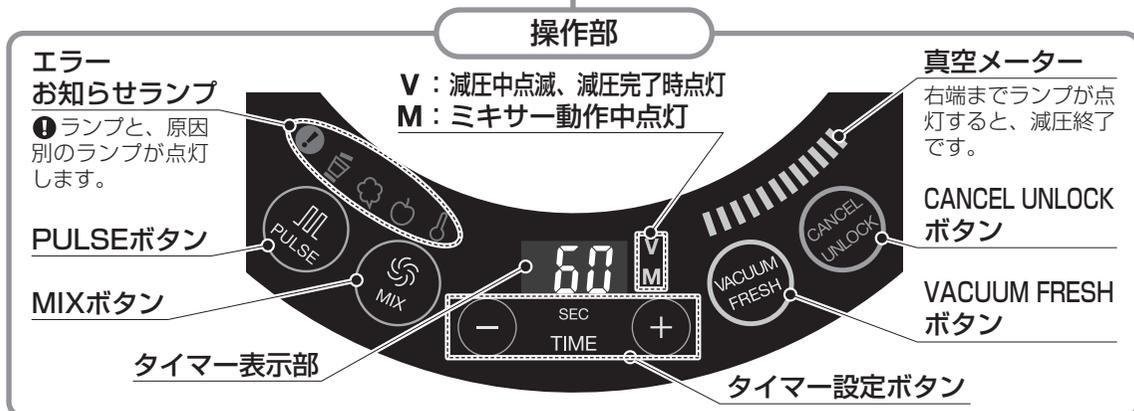
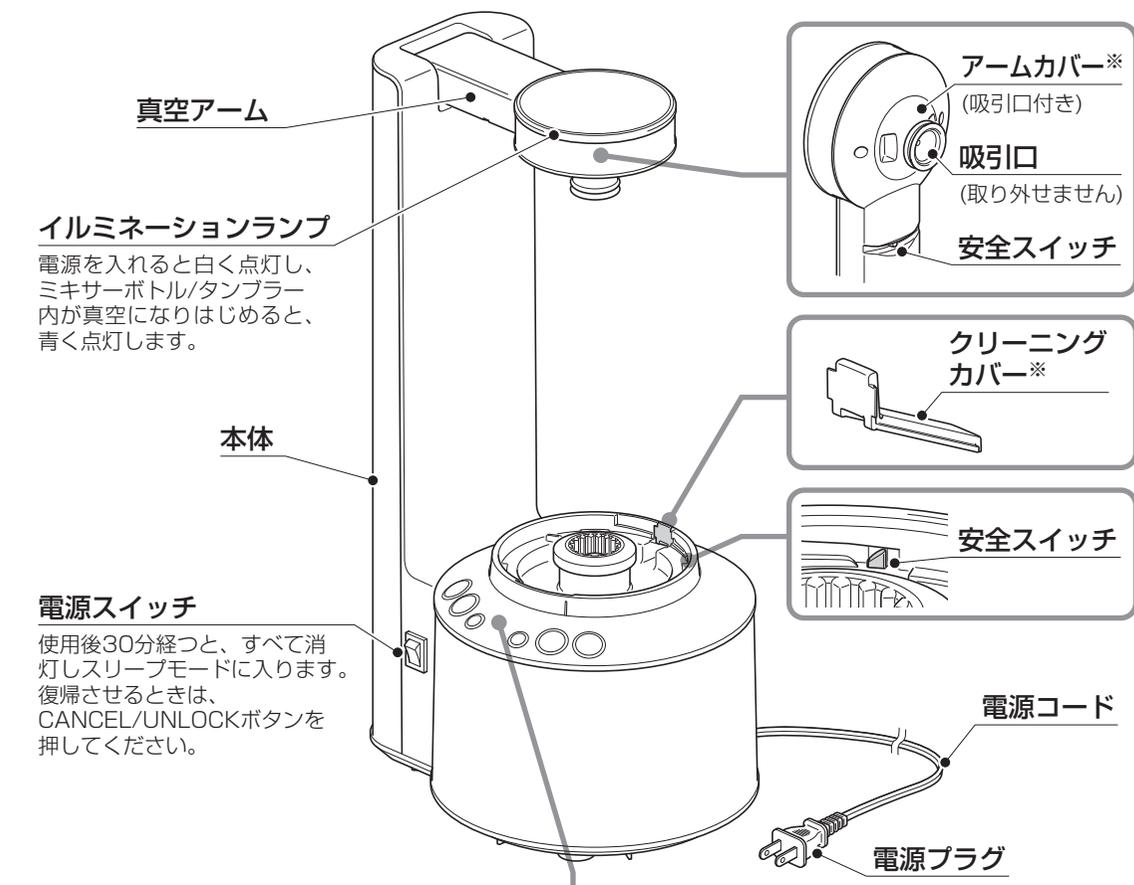


各部のなまえとはたらき

「※」の付いた付属品は、お取り寄せできます。テスコム製品取扱店へお問い合わせください。
ホームページでもご購入いただけます。URL <https://www.tescom-shop.jp/parts/>

製品および部品の仕様は、予告なく変更する場合があります。

本体



レシピブック※

本製品を使用して作ることができるレシピを紹介しています。

カッター台洗浄用キャップ※

30ページ参照。



お使いになる前に

真空ミキサーについて

従来のミキサーでは、材料の攪拌（かくはん）時に空気が多く混入し、作ったスムージーなどが酸化していました。

これに対し、真空ミキサーでは、材料の攪拌（かくはん）前に空気を抜くことで初期酸化を抑え、酸化の進行を遅らせることができます。

また、真空ミキサー機能で作ったものをタンブラーに真空保存することで、酸化を抑えて新鮮さを維持したまま携帯や保存することができます。

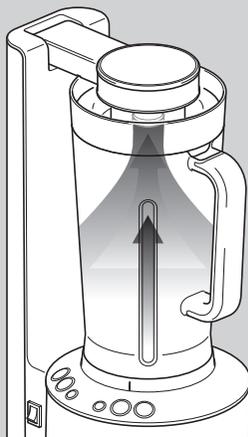
※真空保存に滅菌作用はありませんので、タンブラーでの長時間の持ち運びは避けてください。また、保存する場合は冷蔵庫に入れ、できるだけ早くお飲みください。

真空ミキサー

ミキサーボトル内を減圧して真空状態にし、調理を自動でおこない停止します。

ミキサーボトル内減圧

真空アームからミキサーボトル内の空気を吸い取ります。



自動調理

パルス運転（5回）
連続運転（時間はタイマー設定）

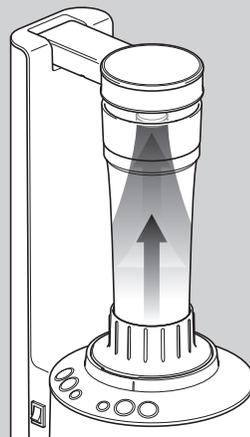
自動停止

真空保存

タンブラー内を減圧して真空状態にし、自動で停止します。

タンブラー内減圧

真空アームからタンブラー内の空気を吸い取ります。



自動停止

お使いになる前に

※真空：大気圧より低い圧力の状態。

ご 注 意

空気と一緒に異物が本体に吸い込まれると、故障する原因となります。下の内容を守ってお使いください。

異物吸引の原因

粉末
(きなこ・ココアパウダー・
粉糖・プロテインなど)



蒸気



フタに付いた
液体など



食材から出てくる気泡や泡

気泡・泡の出やすいもの

- 空気を多く含むアイスクリーム・りんごなど
- 泡がふくらみやすい牛乳・豆乳・乳製品など
- 膨張剤が含まれているもの

故障を防ぐには

● ミキサー機能で調理するか、完全に溶かしてから入れてください。詳しくは10ページ参照。

● 食材は40℃以下に冷ましてから入れてください。

● 各フタセットは1回使うごとに確認し、ボトルフタやタンブラーフタの裏に液体などが付着していたら、お手入れをしてください。

① 12・20ページにあるミキサーボトル・タンブラーの最大量を確認し、容量を守ってお使いください。

② スムージーなどをタンブラーにうつすときは、泡立たないように、静かに注いでください。

ミキサーボトルやタンブラー内を減圧すると、材料に含まれている空気が泡になって上がってきたり、泡立つことがあります。

最大量（12・20ページ参照）以下であればほとんど問題はありますが、万一減圧中に泡がフタに届きそうになったときは、すぐにCANCEL UNLOCKボタンを押して中止してください。調理途中の材料は、ミキサー機能を使って調理してください。（17ページ参照）



ミキサーの使いかた

使えない材料（故障の原因）

★40℃以上の材料

★肉・魚類

★小麦粉などの粉類

★固いもの・乾燥したもの

- ・冷凍食品（くだもの以外）
- ・市販の氷
- ・かつお節/乾燥大豆
- ・ドライフルーツ など

★ねばりけの強いもの

★粉末（水などに溶かせる場合は10ページ参照）

※真空ミキサー機能を使う場合。

ミキサーは材料をきざむ・水分の少ないものをまぜる・こねる・ペーストを作るといった用途（ハンバーグ・ギョーザのタネなど）には使えません。
故障の原因となります。

また、食材の組み合わせや水分量によっては、故障を防ぐために運転が途中で止まることがあります。そのときは、25～26ページの手順で対処してください。

※材料についてご不明なときは「テスコムお客様ご相談窓口」にご相談ください。（34ページ参照）

材料の下ごしらえ

★くだもの

皮の厚いものは皮をむき、
芯・種を取って3cm角に
切る。
バナナは3cm幅の輪切り
にする。



★にんじんなどの固いもの

3cm角に切る。



★かんきつ類

皮をむき小房に分け、
種を取る。



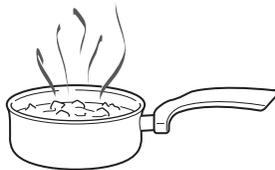
★ほうれん草などの葉もの

根を切り落とし、3cm幅に
切る。
多く入れたいときは、細か
めにきざむ。



★温かい材料

40℃以下に
冷ます。



★冷凍果実

3cm角以下にして凍らせる。
※かたまりになって凍っているものは、
必ずバラバラに分けてから入れてく
ださい。

★氷

家庭用製氷皿で作った2.5cm角程度
の大きさの氷を用意する。
※一度に使えるのは10個 までです。

調理のアドバイス

水などの液体を入れずに
作るときは

カッターの空回りを防ぐために水などの液体が必要ですが、材料から出る水分が十分であれば液体を入れずに調理できます。

●ポイント

- ① やわらかく水分の多い材料（手でつぶしてジュースにできるようなもの）をベースとして使う。
例：かんきつ類・トマト・スイカ・ぶどう・メロン・キウイ
ベースに向かないもの：パイナップル・りんご など
- ② 材料の半分以上（重さ）をベースとなる材料にする。
- ③ (1)ベースとなる材料⇒(2)葉もの⇒(3)水分の少ない材料⇒(4)氷・冷凍果実などの順でミキサーボトルに入れる。

市販のジュースを
水代わりに使うときは

市販のジュースも使えます。

ただし、乳飲料となっているものは泡立ちやすいため、真空ミキサー機能で調理する場合は牛乳・豆乳を使うときと同じ最大量で調理してください。（12ページ参照）

スープを作るときは

ゆでたじゃがいもなどは、調理中にねばりけが出てくるため十分な液体を入れる必要があります。付属のレシピブックの分量を参考にしてください。

ねばりが強すぎるとエラーで止まることがありますので、25～26ページの手順で対処してください。

粉末状の材料
（ココア・きなこ・粉糖・
プロテインなど）を使う
ときは

真空ミキサー機能で使う場合は、あらかじめ別の容器で液体と混ぜ、完全に溶かしきってから牛乳・豆乳を使うときと同じ最大量で調理してください。（12ページ参照）

※シェイクして混ぜたものは入れないでください。泡が吸引され故障の原因となります。



完全に溶かすのが難しい粉末は、調理後に他の容器に移してから混ぜるか、ミキサー機能（17ページ）を使って調理してください。

真空ミキサー機能では、ダマ・溶け残った粉が減圧中にはじけてミキサーボトル内に飛散し、空気と一緒に本体に吸い込まれて故障の原因となります。

ミキサーの使いかた

初めてお使いになるときやしばらく使わなかったときは、ご使用前にボトルセットを洗ってからお使いください。(29~30ページ参照)

準備

ご注意

- フロートを必ず取り付ける。
故障を防ぐための重要な部品ですので、取り付け忘れのないように注意してください。

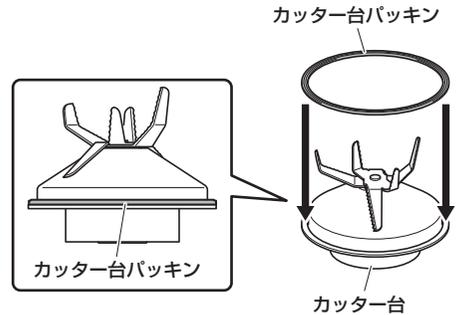


1 ミキサーボトル部を組み立てる。

- ①カッター台にカッター台パッキンを取り付ける。



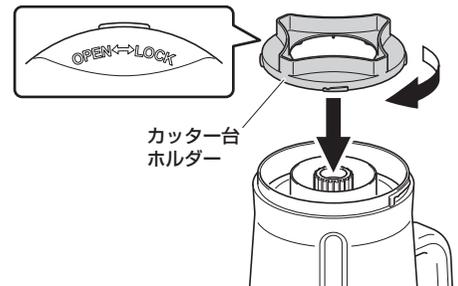
パッキンは正しく取り付ける。
正しく取り付けないと材料が
もれる原因となります。



- ②図のように伏せて置いたミキサーボトルの底に、カッター台を乗せる。



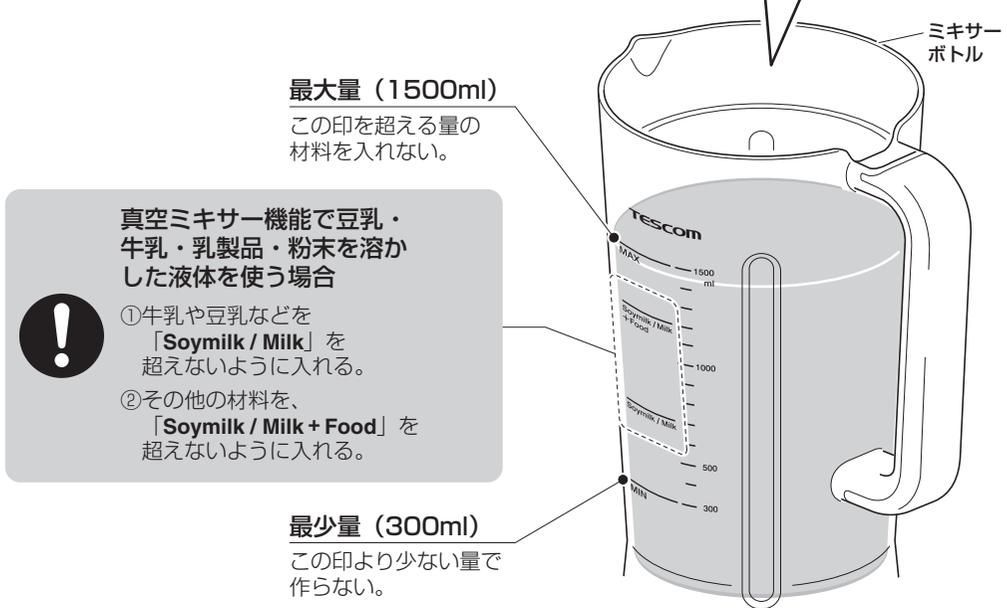
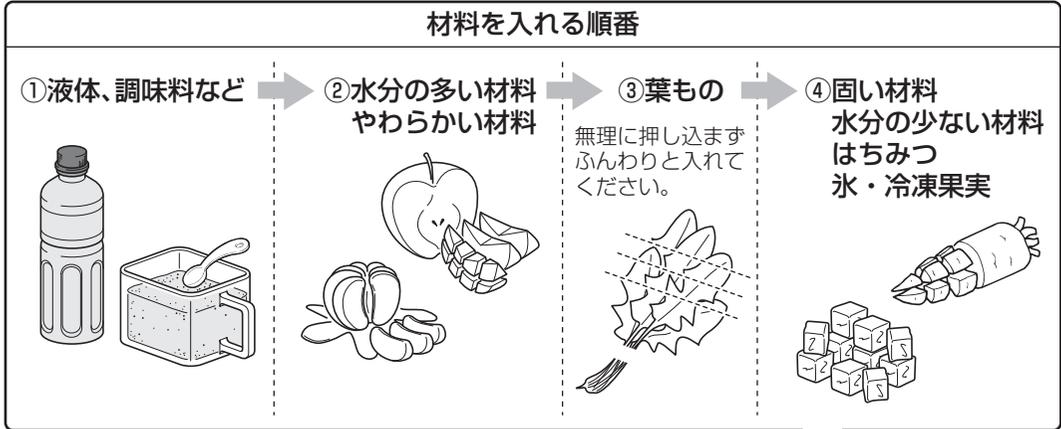
- ③カッター台ホルダーを乗せ、図の矢印の方向に回して取り付ける。



Point

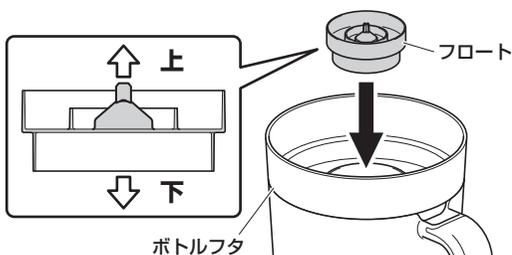
止まる位置まで回す。

2 下ごしらえした材料（9ページ参照）をミキサーボトル部に入れる。

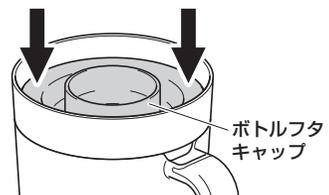


3 しっかりとフタをする。

①ボトルフタをはめ、中央にフロートを置く。



②ボトルフタキャップを、上から押しつけてしっかりとめる。



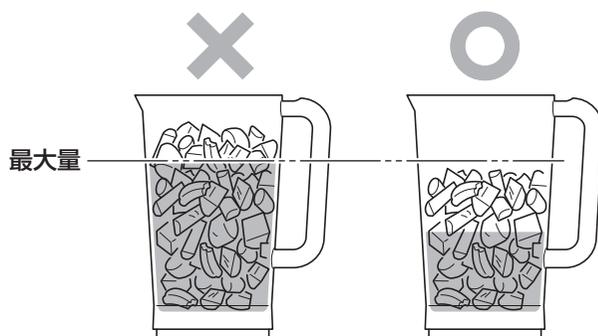
ミキサーの使いかた

真空ミキサー機能の使いかた

ミキサーボトル内を真空*にして酸化を抑えながら調理する自動コースです。

ご 注 意

- 各部を正しく組み立てる。故障・エラーの原因となります。
- 必ずミキサーボトルの最大量（12ページ参照）以下の量で作る。
ミキサーボトルを横から見て、線を超えている材料があったら、押し込まずに菜ばしなどで取り除いてください。



- 1 組み立てたミキサーボトル部に材料を入れ、しっかりとフタをする。
（11～12ページ参照）

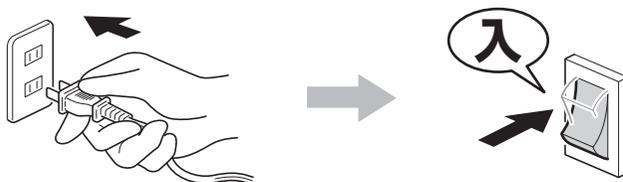


一回使うごとにボトルフタセットのお手入れをし、乾いたきれいな状態で使う。

フタに食材や水分が付いた状態で繰り返し使うと、故障の原因となります。

- 2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを押して電源を入れる。

- イルミネーションランプが点灯し、タイマーが表示されます。



ミキサーの使いかた

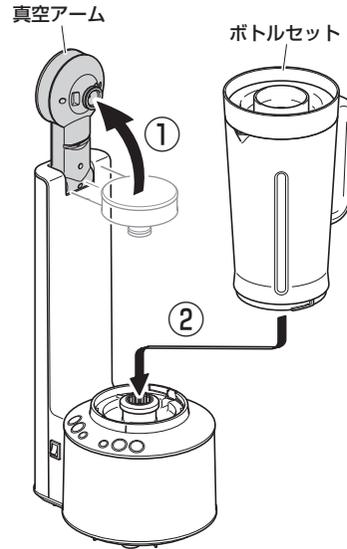
※真空：大気圧より低い圧力の状態。

3 ボトルセットを本体にセットする。

①真空アームを垂直に立てる。

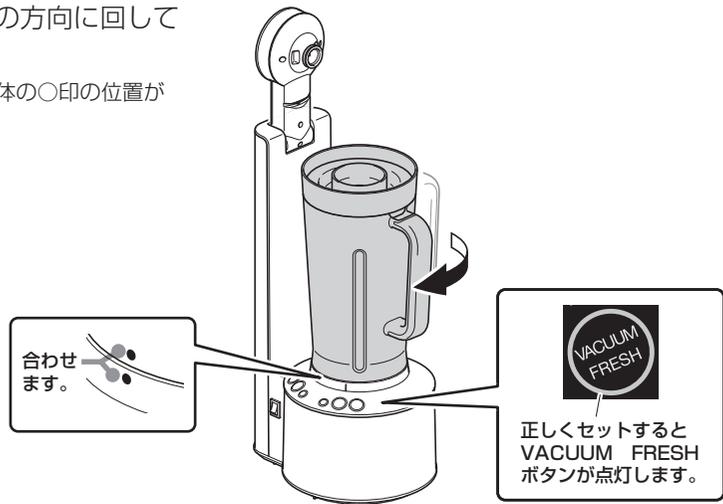
②図のようにボトルセットを本体にのせる。

※真空アームにぶつけないよう注意してください。

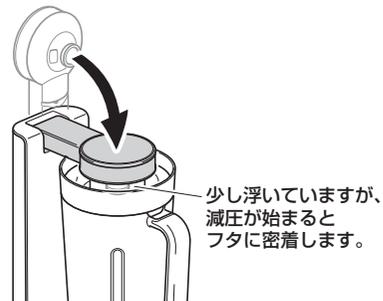


③ボトルセットを図の矢印の方向に回してセットする。

●ミキサーボトルの○印と、本体の○印の位置が合うまで回してください。



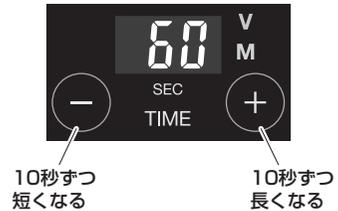
④真空アームを下ろす。



ミキサーの使いかた

4 タイマー設定ボタンを押して、調理時間を設定する。

- 10秒から120秒まで、10秒単位で設定できます。
- 初めて使うときは60秒、2回目以降は前回設定した時間に自動で設定されます。



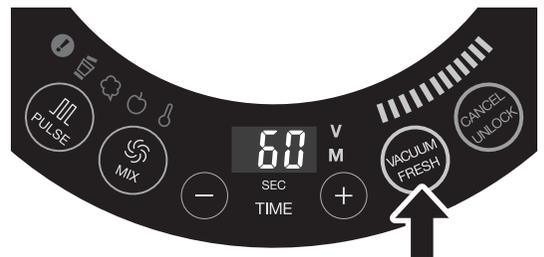
5 VACUUM FRESHボタンを押す。

ミキサーボトル内の空気を抜いて真空にします。
(真空メーターがすべて点灯すると終了。)

「ピーピーピー」と鳴り、5回間欠運転して材料を混ぜます。

タイマーが0になるまで、連続運転で攪拌（かくはん）します。

自動で停止します。



- 運転を途中で止めるときは、CANCEL/UNLOCKボタンを押してください。1度押すと一時停止し、2度押すと真空アームが外れます。（真空アームを外すと、タイマーがリセットされます。）

一時停止からの再開

ミキサーボトル内の空気を抜いている途中で止めたとき：VACUUM FRESHボタン（点灯）を押す。
カッターが回り調理が始まってから止めたとき：MIXボタンを押す。

本製品は、エラーを感知すると「ピピーッピピーッピピーッ」という警告音とランプでお知らせし、自動停止します。
エラー発生時は、ケガ・故障を防ぐため、25～26ページの手順で対処してください。

Point

調理後、さらに攪拌（かくはん）したいときは、タイマーを設定してPULSEまたはMIXボタンを使って調理を続けてください。（17ページ参照）

※CANCEL/UNLOCKボタンを押して真空アームを外したあとは、ミキサーボトル内に空気が入って真空ではなくなっています。真空ミキサー機能で調理しなおすときは、必ずボトルフタセットのお手入れをして、乾いたきれいな状態にしてから、調理してください。

ミキサーの使いかた

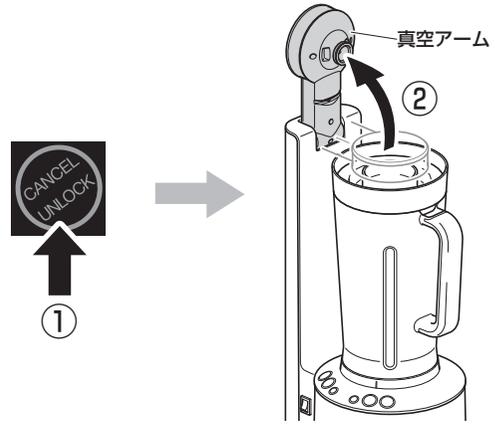
※真空：大気圧より低い圧力の状態。

6 ボトルセットを本体から外す。

①CANCEL/UNLOCKボタンを押す。

②真空アームが少し持ち上がったことを確認してから、真空アームを垂直に立てる。

※真空アームを、無理にフタから外さないでください。

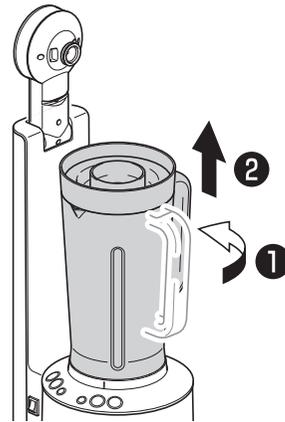


③図の矢印の方向にボトルセットを回して、本体から外す。

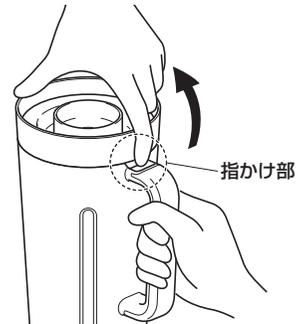
※真空アームにぶつけないよう注意してください。

⇒作ったスムージーなどを真空保存するときは19ページへ。

●ミキサーボトルでは保存できません。



フタを外すときは、安定したところに置いてミキサーボトルをしっかり押さえ、取っ手の上にある指かけ部から外してください。



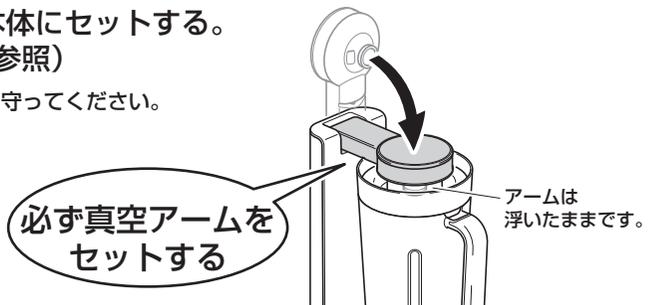
7 続けて使わない場合は、電源スイッチを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

ミキサーの使いかた

ミキサー機能の使いかた

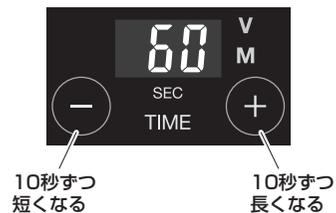
- 1 電源を入れてボトルセットを本体にセットする。
(13~14ページ 手順1~3参照)

※材料については11・12ページの内容を守ってください。



- 2 タイマー設定ボタンを押して、調理時間を設定する。

- 10秒から120秒まで、10秒単位で設定できます。
- 初めて使うときは60秒、2回目以降は前回設定した時間に自動で設定されます。

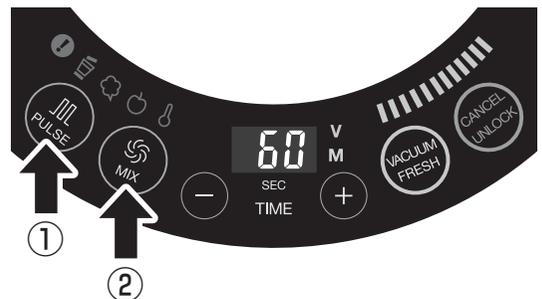


- 3 調理する。

① PULSEボタンを1回1秒くらいの長さで数回押す。

② 材料が混ざり始めたらMIXボタンを押す。

- 途中で止めるときは、CANCEL/UNLOCKボタンを押してください。



- 4 ボトルセットを本体から外す。(16ページ 手順6参照)

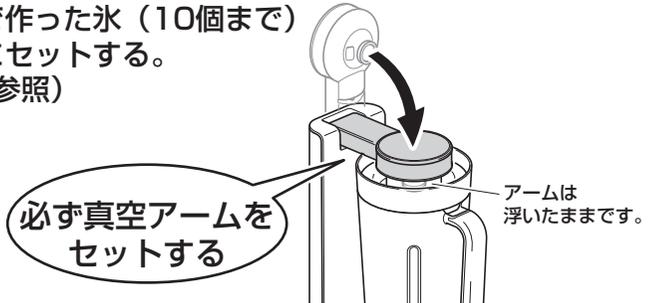


ミキサー機能で作ったものを真空保存しない。
真空ミキサー機能で調理しなさない。

すでに空気が混ざっているため酸化は抑えられません。
また、真空にするための空気吸引で調理時に混ざった空気が膨張するため、
本体内に液体などが吸い込まれて製品が故障する恐れがあります。

クラッシュアイスの作りかた

- 1 電源を入れて、家庭用製氷皿で作った氷（10個まで）を入れたボトルセットを本体にセットする。
（13～14ページ 手順1～3参照）



- 2 PULSEボタンを1回1秒くらいの長さで押し、好みの状態になるまで氷を砕く。



- 3 ボトルセットを本体から外し（16ページ 手順6参照）、菜ばしなどを使って氷を取り出す。

Point

クラッシュアイスを作るときは、乾いたミキサーボトルと、よく冷えた氷を使いましょう。繰り返し作るときは、1回ごとにボトル内の水気をよくふき取ってください。ミキサーボトルや氷が湿っていると、氷がうまく砕けません。



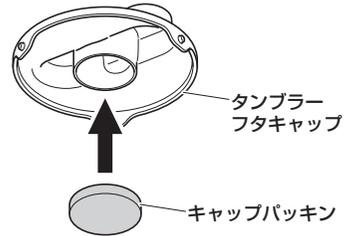
真空保存のしかた

初めてお使いになるときやしばらく使わなかったときは、ご使用前にタンブラーセットを洗ってからお使いください。(31~32ページ参照)

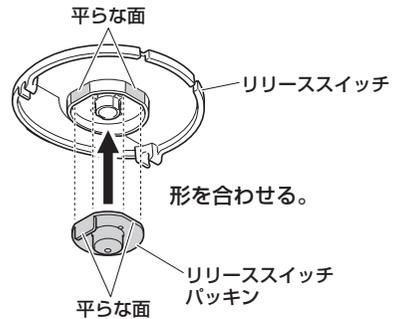
準備

1 各パッキンを取り付ける。

- ①タンブラーフタキャップ裏面の中心に、キャップパッキンをはめる。

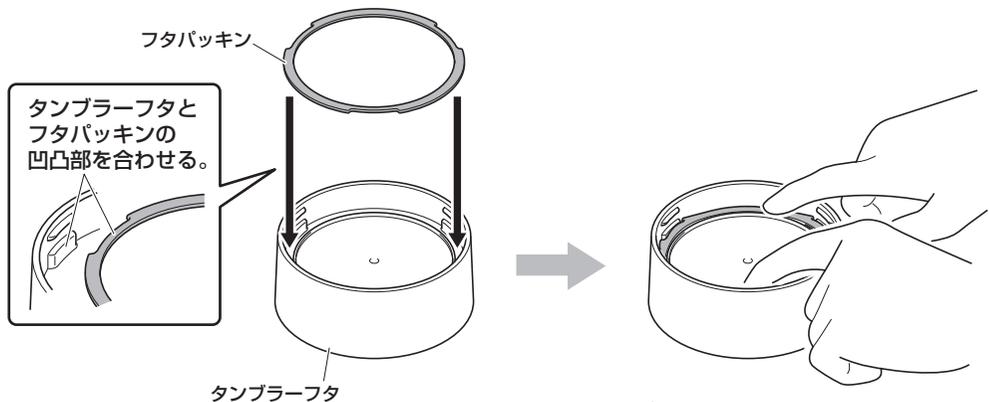


- ②リリーススイッチ裏面の中心に、リリーススイッチパッキンをはめる。



- ③タンブラーフタ裏面のミゾに、フタパッキンを取り付ける。

- フタパッキンに表裏はありません。



Point

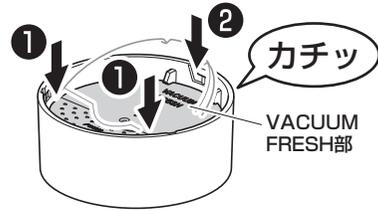
パッキンが浮かないようにしっかりはめ込む。

2 タンブラーフタにリリーススイッチを取り付ける。

①タンブラーフタの凸部の下にリリーススイッチPUSH部側の凸部がはまるように、リリーススイッチを入れる。

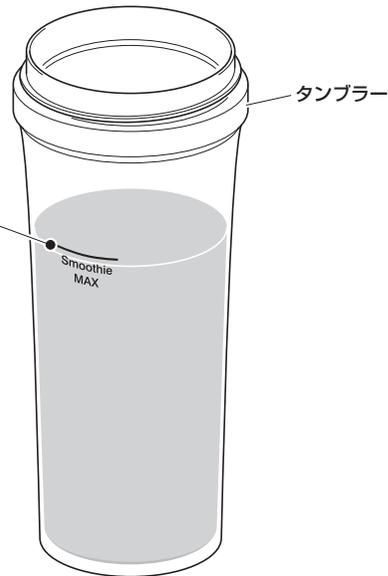


②反対側を下ろし、両横①→VACUUM FRESH部②の順に、しっかり押しはめる。



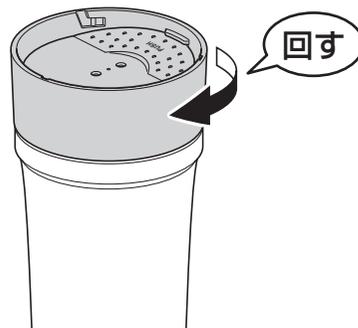
3 真空ミキサー機能で作ったスムージーなどを、泡立たないようにゆっくりとタンブラーに注ぐ。

最大量 (400ml)



4 タンブラーをまっすぐ立てたまま、フタを図の矢印の方向に回して取り付ける。

●タンブラーフタキャップは、まだ取り付けません。



真空保存のしかた

真空保存機能の使いかた

真空ミキサー機能で作ったスムージーなどを保存します。
タンブラー内を真空※にして保存するので、新鮮さを保てます。

※滅菌作用はありません。長時間の持ち歩きや常温保存は避けてください。また、材料の組み合わせによっては、保存中に分離することがあります。

ご 注 意

- 冷凍庫に入れない。変形・破損の恐れがあります。
- 真空ミキサー機能で作ったもの以外を真空保存しない。故障の原因となります。
- 真空保存前に、タンブラーフタにスムージーなどが付かないようにする。
故障の原因となりますので、タンブラーを振ったりかたむけたりしないよう注意してください。

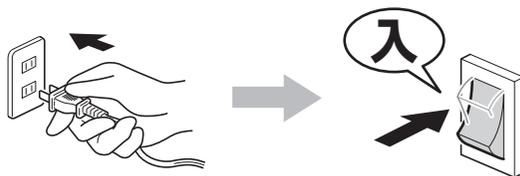
- 1 タンブラーにスムージーなどを入れ、しっかりとフタをする。
(19～20ページ参照)



フタを開けた（リリーススイッチを押して空気を入れた）タンブラーの中身を再度真空保存する場合、必ずフタセットのお手入れをする。
フタにスムージーなどが付いた状態で使うと、故障の原因となります。

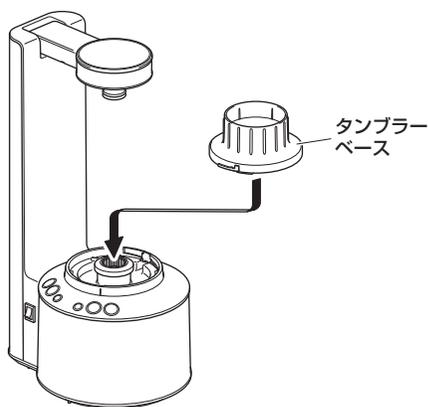
- 2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを押して電源を入れる。

- イルミネーションランプが点灯し、タイマーが表示されます。



- 3 本体にセットする。

- ① タンブラーベースを本体にのせる。

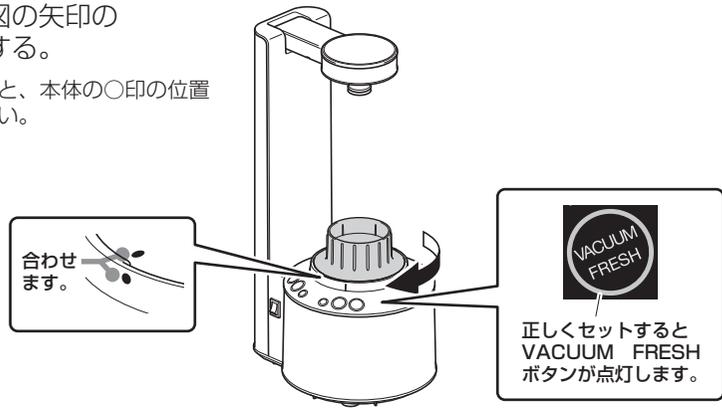


真空保存のしかた

※真空：大気圧より低い圧力の状態。

②タンブラーベースを図の矢印の方向に回してセットする。

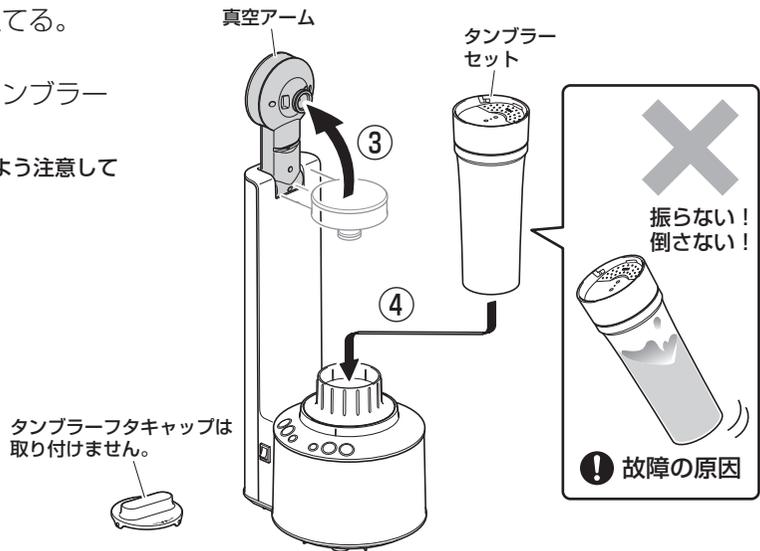
- タンブラーベースの○印と、本体の○印の位置が合うまで回してください。



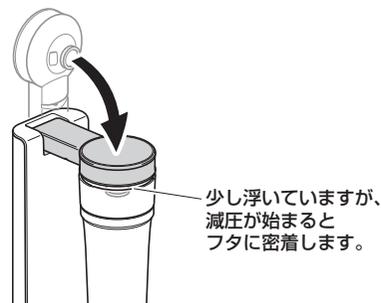
③真空アームを垂直に立てる。

④タンブラーセットをタンブラーベースにのせる。

- ※真空アームにぶつけないよう注意してください。



⑤真空アームを下ろす。



真空保存のしかた

4 VACUUM FRESHボタンを押す。

タンブラー内の空気を抜いて真空にします。
(真空メーターがすべて点灯すると終了。)

自動で停止し、真空アームが外れます。



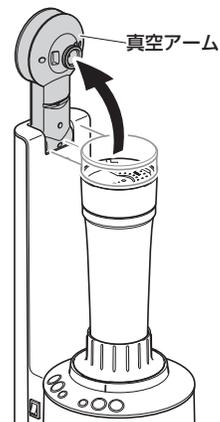
- 途中で止めるときは、CANCEL/UNLOCKボタンを押してください。1度押すと一時停止し、2度押すと真空アームが外れます。再開するとき、VACUUM FRESHボタン（点灯）を押します。

本製品は、エラーを感知すると「ピピーッピピーッピピーッ」という警告音とランプでお知らせし、自動停止します。
エラー発生時は、ケガ・故障を防ぐため、25～26ページの手順で対処してください。

5 タンブラーセットを本体から外す。

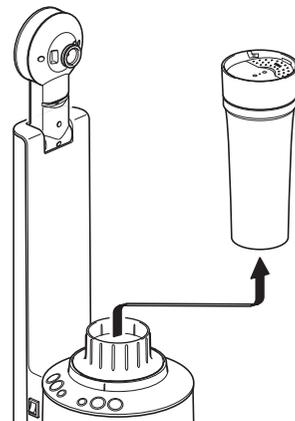
- ①真空アームが少し持ち上がったことを確認してから、真空アームを垂直に立てる。

※真空アームを、無理にフタから外さないでください。

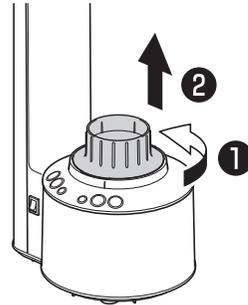


- ②タンブラーセットを外す。

※真空アームにぶつけないよう注意してください。



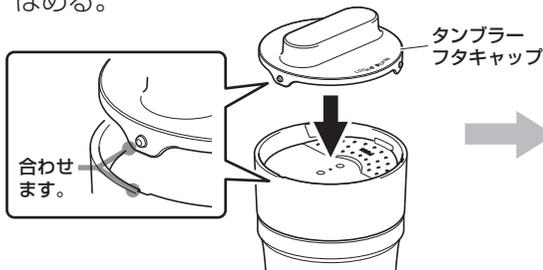
③図の矢印の方向にタンブラーベースを回して、本体から外す。



6 続けて使わない場合は、電源スイッチを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

7 タンブラーフタキャップを取り付ける。

①タンブラーフタキャップの凸部を、タンブラーフタの凹部に合わせてはめる。

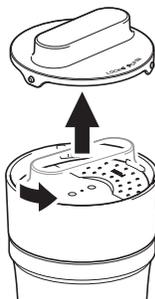


②タンブラーフタキャップを図の矢印の方向に回す。



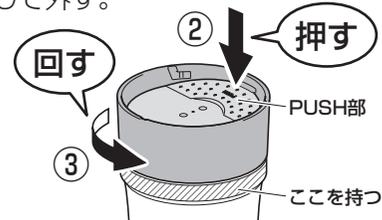
真空保存したタンブラー内は減圧されています。飲むときは、下記の手順でタンブラーフタを外してください。

①タンブラーフタキャップを図の矢印の方向に回して外す。



②リリーススイッチのPUSH部を押す。(真空でなくなります)

③タンブラーの上部を持って、タンブラーフタを図の矢印の方向に回して外す。



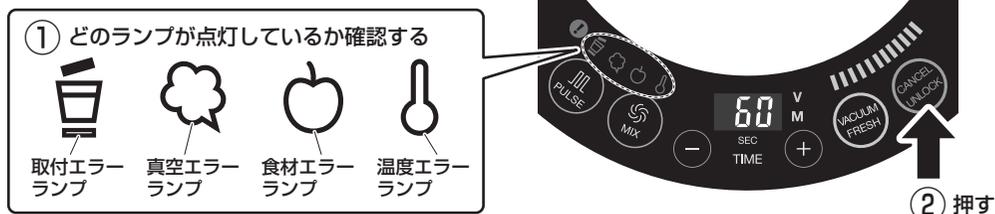
※飲んだあとは、しっかりとタンブラーフタを取り付けてください。スムージーなどが漏れる原因となります。



エラーが発生したときは

本製品は、エラーを感知すると「ビピーッビピーッビピーッ」という警告音とランプでお知らせし自動停止します。
ケガ・故障を防ぐため、下記の手順で対処してください。

- ①点灯しているランプを確認し、
②CANCEL UNLOCKボタンを押してエラーを解除する。



取付エラーランプが点灯したとき

確認してください

調理
保存

真空アームをセットしましたか？

ボトルセット/タンブラーベースが本体に正しく取り付けられていますか？

対処のしかた

●真空機能を使わないときも、真空アームをセットしてください。

●本体に正しく取り付け、VACUUM FRESHボタンの点灯を確認してください。(14・22ページ参照)



真空エラーランプが点灯したとき

確認してください

調理
保存

フタをしっかりとはめていますか？

ボトルフタ/タンブラーフタに泡や材料などが付いていませんか？

各フタセットは正しく組み立てられていますか？

カッター台は正しく取り付けられていますか？

対処のしかた

●すき間ができないよう、しっかりとフタをしてください。

●フタのお手入れをしてください。(29~32ページ参照)
●ミキサーボトル・タンブラー内の泡を捨ててください。

●部品やパッキンの取り付け忘れ、組立間違いがないか確認してください。

●必ずカッター台パッキンを取り付けてください。
●カッター台ホルダーをしっかりと回してください。

エラーが発生したときは

- 電源スイッチをOFFにして、電源プラグをコンセントから抜く。
- ボトルセット/タンブラーセットを本体から外す。
(16・23 ページ参照)
- 下記を確認して、原因別に対処する。
※それでも直らないときは、弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。(34ページ参照)



食材エラーランプが点灯したとき

ミキサーボトルの中身を別の容器に移してから、対処してください。



確認してください

材料が多すぎませんか？

使えない材料を入れていませんか？

材料が大きい、水分が少ないなど、混ぜにくい状態になっていませんか？

カッターに材料がはさまっていませんか？

材料がアームカバーに吸引されていませんか？

対処のしかた

● 材料を減らし、ミキサーボトルの容量を守ってお使いください。(12ページ参照)

● 使えない材料(9ページ参照)を取り除いてください。

● 材料を小さく切りなおしてください。
● 水などの液体を足してください。

● カッター台を取り外し(29ページ参照)、さいばしなどでカッターにはさまった材料を取り除いてください。

● アームカバーのお手入れをしてください。(28ページ参照)

調理



温度エラーランプが点滅したとき

確認してください

長時間連続使用していませんか？

対処のしかた

● 30分以上休ませてください。
※定格時間を守ってください。

調理
保存



お手入れのしかた

必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお手入れをしてください。
お手入れの方法を必ず守ってください。本製品が故障する恐れがあります。

ご注意

- ベンジン・シンナー・金属たわし・磨き粉・ ●パッキンなどの紛失に注意する。
化学ぞうきんをよごれ落としとして使わない。

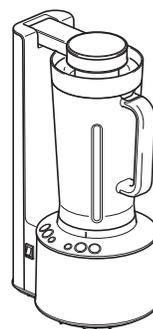
お手入れをする前に

汚れがひどいときは、以下の手順で予備洗いをしてください。

1 13・14ページの手順1～3に従い

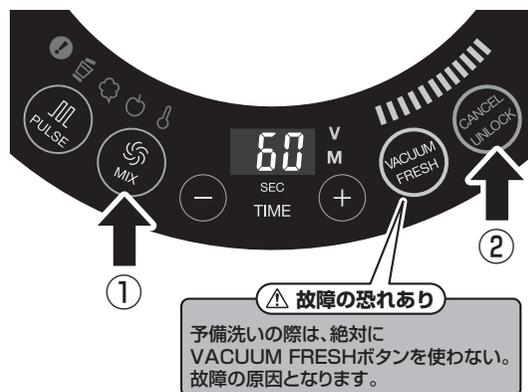
水またはぬるま湯
(40℃以下)：ボトル1/3程度
台所用中性洗剤：数滴

を入れたボトルセットを本体に取り付け、
電源を入れる。



2 ①MIXボタンを押して数秒間運転させ、 ②CANCEL UNLOCKボタンを押して止める。

- 汚れの程度により、運転時間を調整してください。



3 回転が完全に止まってからボトルセットを本体から外す。 (16ページ参照)

4 電源スイッチを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

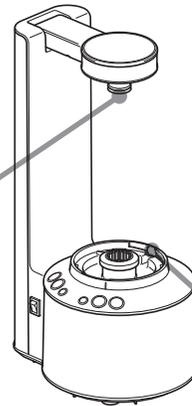
5 フタを外して中の水(ぬるま湯)を捨て、水で軽くすすぎ、 各部に分けてお手入れをする。

本体のお手入れ

「石けん水」または「水で薄めた中性洗剤」に浸したやわらかい布をよく絞ってふき取る。

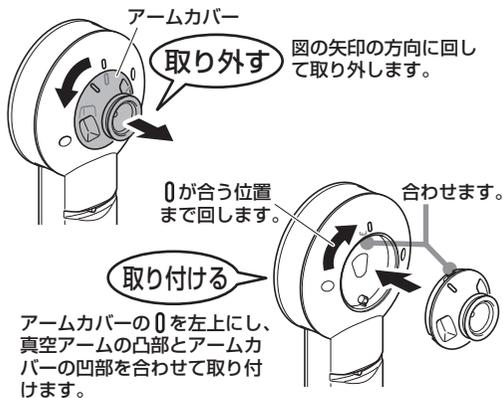
⚠ 水濡注意

本体は水洗いできないのでぬらさないよう注意する。故障の原因となります。



吸引口には洗剤を使わず、よくしぼった布で水ぶきしてください。
※布のケバなどが残らないように注意してください。

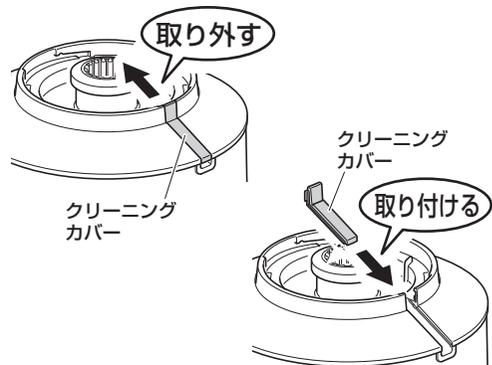
食材エラーになり材料の吸引が疑われるときや、汚れが気になるときは、アームカバーを取り外して水洗いできます。



⚠ 注意

お手入れ後は、良く水気を取り完全に乾燥させてから、本体に取り付けてください。

ミキサーボトルなどをセットする部分に液体をこぼすと、外に流れ出るようになっています。この部分が汚れたときは、クリーニングカバーを図のようにスライドさせて外し、汚れをふき取ってください。
お手入れしたあとは、必ずクリーニングカバーを取り付けてください。



⚠ 水濡注意

水などを流して洗わない。本体に水が入り、故障の原因となります。

タンブラーベースのお手入れ

「石けん水」または「水で薄めた中性洗剤」に浸したやわらかい布をよく絞ってふき取るか、中性洗剤を付けたスポンジで洗い、よくすすぐ。

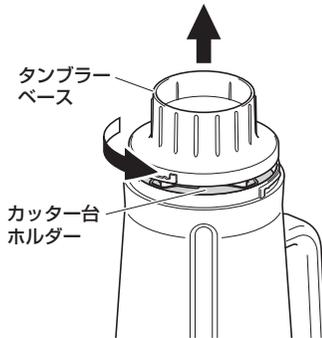


お手入れのしかた

ボトルセットのお手入れ

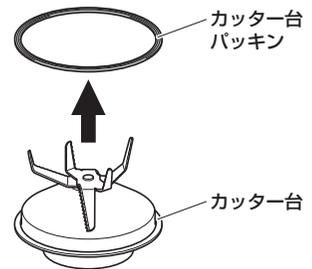
各部の外しかた

- ①伏せたミキサーボトル部の底にタンブラーベースをはめ、カッター台ホルダーを図の矢印の方向に回して取り外す。
カッター台をミキサーボトルから取り外す。



- タンブラーベースは、カッター台ホルダーの取り付けにも使えます。

- ②カッター台から、カッター台パッキンを外す。(カッター台パッキンがミキサーボトル側に残っている場合があります。)

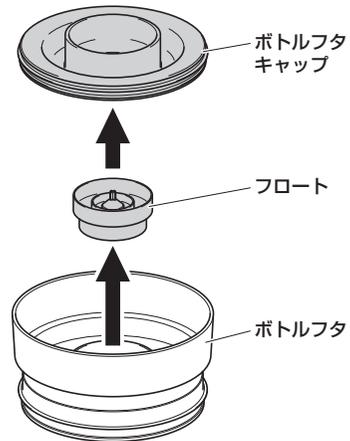


⚠ けがの恐れあり

刃に触れないよう、ご注意ください。

- ③ボトルフタからボトルフタキャップを外し、フロートを取り出す。

- ※ボトルフタ・ボトルフタキャップのパッキンは、外せません。



お手入れのしかた

中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水かぬるま湯(40℃以下)でよくすすぐ。

カッター台を洗うときは、カッターに触れないよう付属の掃除用ブラシなどを使う。

⚠ 水没禁止

カッター台のつけ置き洗いをしない。
完全防水ではないので、故障の原因となります。



食器洗い乾燥機使用について

★食器洗い乾燥機に対応しているもの

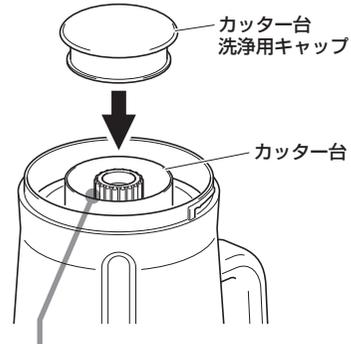
- ・ミキサーボトル
- ・カッター台パッキン
- ・カッター台

食器洗い乾燥機の取扱方法にしたがって洗う。

仕様が80℃を超える食器洗い乾燥機は使えません。

カッター台を食器洗い乾燥機で洗うときは、裏面の中央にカッター台洗浄用キャップを取り付ける。

構造上、ミキサーボトルの取っ手の中に水などが入りますので、取っ手の下にある穴から抜いてください。



カッター台洗浄用キャップを取り付けるときは、カッター台をミキサーボトルに乗せたまま取り付けてください。また、取り外しの際は、カッターの刃に触れないよう注意して取り外してください。

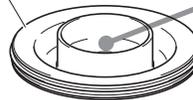
お手入れのあとは...

1 お手入れのあとは水分をふき取り、十分に乾燥させてから各部を組み立てる。

※水分が残っていると、さびやカビが発生する原因となります。

ボトルフタキャップ

中央の穴に水がたまりやすいので、よく振って水をふいてください。



2 ボトルセットを本体にセットし、直射日光の当たらない通気性の良い場所で保管する。

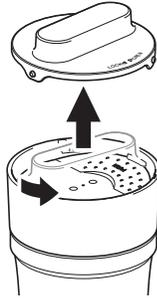


お手入れのしかた

タンブラーセットのお手入れ

各部の外しかた

- ①タンブラーフタキャップを図の矢印の方向に回して、タンブラーフタから外す。

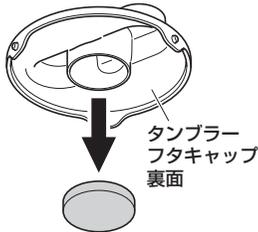


- ②リリーススイッチのPUSH部を押し、持ち上がった反対側を持って外す。



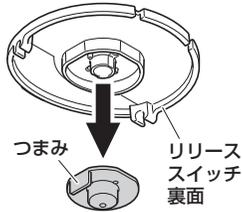
- ③それぞれパッキンを外す。(計3種類)

★キャップパッキン



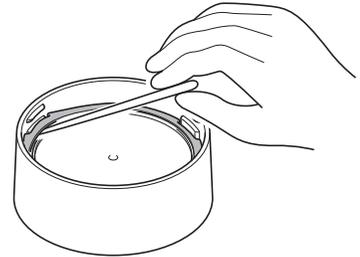
★リリーススイッチパッキン

つまみを引っ張って外してください。



★フタパッキン

ようじなど、先の細いものを使って外してください。



- ④タンブラーを食器洗浄機で洗う場合は、外側を図の矢印の方向に回して取り外し、外側と内側に分ける。



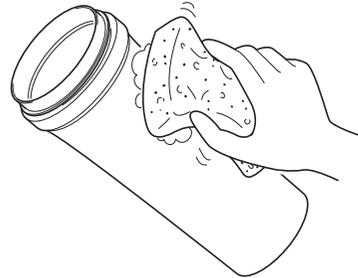
- ⑤タンブラー内側に付いているパッキン(フタパッキンと共通)を外す。



お手入れのしかた

中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水かぬるま湯（40℃以下）でよくすすぐ。

タンブラーの外側と内側がしまっていなかったり、つけ置き洗いなどをすると、中に水が入り込むことがあります。
その場合は、タンブラーを外側と内側に分けて、よく乾燥させてください。



食器洗い乾燥機使用について

★食器洗い乾燥機に対応しているもの

- ・タンブラー（外側・内側・中のパッキン）

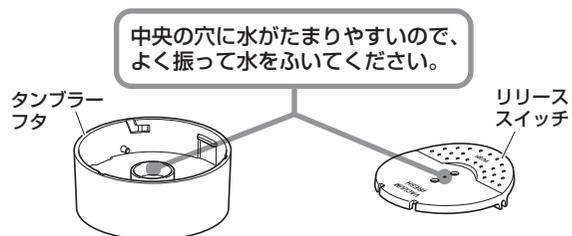
外側と内側に分けてパッキンを外し、食器洗い乾燥機の取扱方法にしたがって洗う。

仕様が80℃を超える食器洗い乾燥機は使えません。

お手入れのあとは...

お手入れのあとは水分をふき取り、十分に乾燥させてから各部を組み立てる。

※水分が残っていると、カビが発生する原因となります。



タンブラーは、パッキンを取り付けて、内側と外側をしっかりとしめて取り付ける。





故障かな？と思ったら

下記のことをお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。
(34ページ参照)

こんなときは	考えられる原因	処置の方法
ボタンを押しても動かない。 運転が止まった。 (エラーお知らせランプが点灯している。)		●25～26ページの手順に従って対処してください。 対処してもエラーが出続ける場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。(34ページ参照)
表示・ランプがすべて消えた。	●30分間操作されなかったため、待機モードに入った。	●CANCEL UNLOCKボタンを押して、復帰させてください。
VACUUM FRESH ボタンを押しても調理できない。	●PULSEボタンやMIXボタンを使用してから、VACUUM FRESHボタンを押した。 (保護機能の働きです)	●材料に空気が混ざったので、真空機能では調理できません。 ミキサー機能(17ページ参照)で調理してください。
電源が入らない。	●電源プラグが抜けている。	●電源プラグをコンセントに差し込む。
水がもれる。	●カッター台ホルダーをしっかり取り付けていない。 ●カッター台パッキンが取り付けられていない。	●カッター台ホルダーを取り付けるときに、止まるまでしっかり回す。 (11ページ参照) ●カッター台パッキンを取り付ける。 (11ページ参照)
煙が出る。 コードがねじれて戻らなくなった。		ただちに使用を中止し、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。 (34ページ参照)
材料が切れなくなってきた。	●カッターの寿命がきている。	●別売のカッター台と取り替える。 (6ページ参照)

仕様	品名	真空ミキサー	質量	本体+ボトルセット：4.6kg タンブラーセット：320g (TMV2000VTのみ付属)
	品番	TMV2000/2000VT		
	電源	AC100V 50/60Hz		
	消費電力	310W	寸法	高さ459×幅263×奥行195 (mm)
	回転数	7100回転/分	コード長さ	1.2m
	定格	真空ミキサー機能/ミキサー機能：4分使用・2分休止の繰り返し使用で合計20分まで 真空保存機能：3回使用・3分休止のくり返し		
	ボトル容量	ミキサーボトル：最大1500ml 最少300ml タンブラー：最大400ml (TMV2000VTのみ付属)		



アフターサービス

1.保証書について ————— 保証期間はご購入日より1年間です。

この取扱説明書には裏面に商品の保証書が付いています。保証書はご購入販売店で「販売店名・ご購入日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

2.修理を依頼される時

- 保証期間中は商品に保証書を添えてご購入販売店にご持参ください。保証書の記載内容にそって修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときはご購入販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3.補修用性能部品の保有期間

当社では、この商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後6年としております。

4.ご使用中にふだんと変わった状態になったとき

ただちにご使用を中止し、ご購入販売店に点検・修理をご依頼ください。お客様ご自身での分解修理は危険です。(修理には特殊な技術が必要です。)

5.アフターサービスについてご不明の点があるとき

ご購入販売店にお問い合わせください。

- ご転居により、ご購入販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで、ご購入販売店のアフターサービスを受けられない場合は、下記の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

テスコムお客様ご相談窓口

受付時間:平日 9時~17時

- 部品・修理についてのお問い合わせ



0120-343-122

- その他のお問い合わせ



0120-106-018

〒390-1242 長野県松本市和田4217-1 FAX 0263-40-3840

株式会社 **テスコム**

〒141-0031 東京都品川区西五反田5-5-7

この製品には、リサイクル可能な部品が含まれています。廃棄の際は、お住まいの地域の条例などに従ってください。

愛情点検 	●長年ご使用の真空ミキサーの点検を！	ご使用 中止
こんな症状は ありませんか	症状 ●電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ●こげくさい臭いがする。 ●製品の一部に割れ・ゆるみ等がある。 ●その他、異常や故障がある。	事故防止のため、電源プラグ を抜き、販売店に点検・修理 をご相談ください。

〈無料修理規定〉

お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買い上げ販売店が無料修理いたしますので商品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - ①使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ②お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
 - ③火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による故障または損傷。
 - ④業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - ⑤本書の提示がない場合。
 - ⑥本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理を依頼されることができない場合は、「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービス」の項をご覧ください。

当製品の保証書にご記入いただいた、お客様の個人情報、修理・交換品の発送のみに使用し、それ以外の目的で使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

保 証 書 持込修理

品 番	TMV2000/2000VT	保証期間	お買い上げ年月日より 1年間	保証対象	本体
★ お 客 様	ご芳名		様	★お買い上げ年月日	年 月 日
	ご住所 (〒)		★ 販 売 店	住所・店名	
	お電話			電話	